1 オートタキシン基準範囲（カットオフ値）

	①線維化進展例（mg/L）※	②肝硬変（mg/L）
M	0.910	1.690
F	1.270	2.120

※ C 型肝炎治療ガイドライン（第 5.4 版）の「肝線維化 F2 以上」に相当します。
①より高い検体は、肝線維化進展例と判定します。
②より高い検体は、肝硬変と判定します。

【判定上の留意事項】

妊婦では週数が進むに従い ATX 濃度が高値となることが確認されているため、妊婦検体の測定には適しません。
悪性リンパ腫患者、進行した悪性腫瘍患者では、ATX 濃度が高値となることが確認されています。また、重度の心不全患者でも高値を示す場合があります。
副腎皮質ステロイドを服用している人では ATX 濃度が低値を示す場合があります。
肝炎ウイルスを原因としない慢性肝疾患においては、肝線維化ステージと ATX 濃度の関係がウイルス性肝疾患と異なる場合があります。